

市長会見の項目（概要）

と き：令和元年12月18日(水)14:30～

ところ：市政記者室

■ SDGs達成に貢献する環境先進都市をめざし、新たな「大阪市環境基本計画」を策定しました

<担当：環境局環境施策部環境施策課 電話：06-6630-3209> 【フリップあり】

- ◆ 環境問題を取り巻く状況が変化する中、環境基本条例に基づく環境施策のマスタープラン「大阪市環境基本計画」を2年前倒しで見直し、「SDGsの考え方を積極的に活用し、SDGs達成に貢献すること」をコンセプトに、新たな「大阪市環境基本計画」を策定した。
- ◆ SDGs達成に貢献する環境先進都市をめざして、市民や企業などの皆さんとのパートナーシップのもと、経済・社会・環境の統合的向上や、イノベーションの創出・活用といった、SDGsの視点をもって市政を進めていく。
- ◆ 大阪・関西万博では、「持続可能で調和のとれた未来社会のビジョン」が打ち出される。環境基本計画も、万博開催前の中間時点で、万博での取組を見据え、時代に即した見直しを行い、SDGsの達成をめざして取り組んでいく。
- ◆ 具体的な取組として、地球温暖化対策の国際的枠組「パリ協定」の本格運用が来年始まることから、SDGsの考え方を活用した地球温暖化対策に資する取組を3つ挙げている。
- ◆ ごみの削減に向けては、市民や事業者とのパートナーシップのもと、リデュース（排出抑制）、分別、資源回収・循環を推進し、ごみ焼却に伴うCO₂の排出抑制のほか、地域コミュニティの活性化や、行政コストの削減などにもつなげていく。
- ◆ 地中熱の活用促進は、地下水が豊富な大阪ならではの取組であり、帯水層蓄熱という先進的な技術・イノベーションを活かして、CO₂の排出抑制や産業振興などにもつなげていく。
- ◆ 企業や国連機関等と連携した海外展開は、優れた環境技術をもつ企業や、UNEP-IETCと連携し、CO₂の排出抑制など、開発途上国の環境問題の解決に貢献していくことで、環境ビジネスの国際展開を加速し、大阪・関西の経済活性化にもつなげていく。
- ◆ 計画の策定にあたっては、8月の子ども市会で、中学生から提案のあった「学校から、地域、大阪市全体へと環境に対する興味を輪を広げていく」という考え方や、小学生を対象とした作文コンクールや環境をテーマとしたメッセージフォトコンテストでの子ども達の思いを積極的に反映した。
- ◆ 計画の表紙には、小学5年生の「大いなる一步を踏み出す時が来た！」という、食品ロスを減らすために、嫌いなものも残さないという決意の言葉を掲載し、計画の中にも、子ども達の意見や、メッセージ写真を掲載している。
- ◆ 地球温暖化などの様々な問題を解決し、持続可能な世界を実現していくためには、すべての人たちに、私たち一人ひとりの意識の変革が必要というメッセージを伝えていくとともに、特に将来を担う子ども達への環境教育、啓発に力を注いでいきたい。

- ◆ なお、今月16日（月曜日）から、ごみ処理分野の計画「大阪市一般廃棄物処理基本計画」も改定に向けてパブリック・コメントを実施中である。
- ◆ 市民・事業者・環境NPO／NGOなどあらゆるステークホルダーとの連携のもと、SDGsの視点を活かして、廃棄物行政を取り巻く状況変化を踏まえた新たな施策の展開により、プラスチックごみや食品ロスを削減させるなど、より一層のごみ減量を推し進めるため、「大阪市一般廃棄物処理基本計画」を改定する。
- ◆ より良い計画とするため積極的にご意見ご提言をいただきたい。詳しくは、大阪市ホームページをご確認いただきたい。

- ◆ 「すべての主体の参加と協働」のもと、環境施策の3本柱として「循環型社会の形成」「低炭素社会の構築」「快適な都市環境の確保」に取り組み、「地球環境への貢献」を果たしていくことによって、「SDGs達成に貢献する環境先進都市」の実現をめざしていく。